（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十五年十二月五日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百三十二號　（一）

臺灣昌新報 夕刊

十二月四日

夕刊定價一部二錢

無任所大臣として 平沼元首相を起用

親任式は六日御擧行

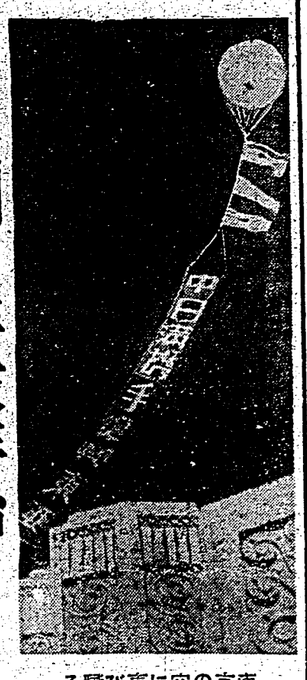
【東京四日發同盟】元首相平沼騏一郎男は四日近衛内閣に無任所大臣として親任されることに決定した

【東京四日發同盟】政府は内外の時局重大にして益々挙國一致體制を擁充強化する必要を痛感し今回英斷を以て無任所大臣任用の適用範圍を擴大する事を決意し擧てこれが單行勅令案を公布即日實施すると共にこの勅令に基づく最初の無任所大臣として元首相平沼騏一郎男を起用する事となし樞密院近衛相より平沼男に對しこれが傳達方を交渉、その交渉を得四日夕之を參内せられたるの後六日に於て右勅令案公布の六日に於て右勅令案公布の六日に於て新たなる重大意義を持つ平沼新無任所相の親任式は宮中の御都合を伺ひ

新體制の年末年始

生活刷新運動展開

精動臺北支部衆智集む



南京の空に喜び舞る

長びく獨英の爭覇

最後は上陸作戰だ

（3）

引揚最終船伏見丸にて

派特盟同會談座員

新任今井報道部長

支那側もまで畏敬

鈴木中佐の語る〝横顔〟

皇后陛下に奉拜の光榮

大神曹長未亡人靜枝さん

勅使、御使を御差遣

畏し誄を賜ふ

齋藤新總務長官

あす高千穗丸で着任

牛嶋前軍司令官

合同送別會

六日臺北公會堂で

南支の興亞日語學校

菊池寛氏ら招いて

文藝銃後講演會

十六日から全島各地で

長谷川總督と

感激の握手

きのふ小林前總督着京

梁井文教局長

臺灣神社參拜

市場の買出しに

奉公班活用

豚公死して名を残す

泊前交通局總長

別れの挨拶

局内係長以上を集めて

更に諸工業を

新竹に誘致

委員會を設け懸命奔走

ラケナモ頑張る

綿糸網の切符

で不當利得

新竹市の豫算

鰻の闇檢擧

忍術の極意

カメラ寫眞機

催眠術秘傳

清水次郎長傳

ぜんそく

脊髓病自療法

金鑛と砂金及石地質書

臺灣案内

醫院

寫眞館

印畫紙

性病科

洋服

和田はメガネ專門

時計眼鏡

出席者

女性の窓

婦子戸の透明さ

鐵製品を護れ

錆を手に取る新工夫

山本祥一

家庭八宝集

無駄なおしゃべり

山寺松韻記（一）

小田嶽夫

進軍の記念塔

澤蘭の再吟味

南支の興亜日語學校

ルーゴンゲ　内服液

性病　梅毒　淋病　化膿菌　腸炎　肺結核　胃腸病　神経系患病　婦人病　産後補給等

新療法

最新治療

多数新薬

内服・短日で

淋病　新鮮治療

ルーゴンゲ内服液

性病　梅毒　淋病　化膿菌　腸炎　肺結核　胃腸病　神経系患病　婦人病　産後補給等

新療法

最新治療

多数新薬

内服・短日で

淋病　新鮮治療

ルーゴンゲ内服液

曉の町 (42)

武田麟太郎作　林唯一畫

初冬の空 (二)

「爺さんは、この頃、すつかり人が変つたやうになつて仕舞つた。酒も煙草も自分からすゝんでやつてゐる。あんなに好きだつた酒も煙草も自分からすゝんでやつてゐる。女房のおその方が、あまり心配なその際に、こつそり煙草をつけて持はさうとしたが、

「——べら棒め、この頃、酒なんぞ飲んでられるかい」

そう叱られてすつこんだ。

「——そりや、飲つてるけれど、……だけど、たまに二杯位だ……」

間は、その初のことで、いつも大喧嘩になつて、叫れる。出て行くまでの騒ぎを考慮したのに、こんどはおそのの方からすすめるのであつた。

「——飲られえだなア、……先生に断りなんぞをしてやるには、そんな時間が出来るかつてんだ」

しようちゆうお爺さんに、苛められ通して来た爺さんは、大いに感激してみせた。おその仕打す甘葉がないのだ。

そこで、煙草が切れば、いくらうるさくはれても、仕事にかゝるまでは、お爺さんの方から、

「——お婆さん、大へんだと」

と、つゝかく迄る様を待くして煙草をつけさせたから、さつきの「——大へんて、何がだと」——どうせ、お前の大へんなたかが知れてるだらうと云ふ調子で直ぐに仕事をつゞけてゐた。

「いゝえそれがお前事でお爺さんに係つたんだよ」

「——ふう、お爺さんが、どうかなすつたのか」

「さうぢやないんだよ、お爺さんに縁談があるんだつて……」

「——ふゝん、そりやめでたい話ぢやねえか、何も大へんだつてことちやねえか」

「直さんがさうか、さうかと、にこにこして。

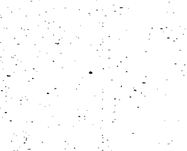
十二月の蔬菜園

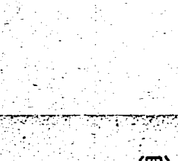
今月は蔬菜は目立つた作物のない月で、秋作の蔬菜が終りと冬の野菜になつて蔬菜の種類は、一方蔬菜類は寒気に出来て花が咲き初めて、本格に冬の野菜であります。云はば蔬菜、大根、蔬菜の収穫時期といゝませう。

即によつて説明、紹介、致すべきものを次に掲げます。

家庭園藝栽培暦 (上)

佐藤誠





（第二版）　（明治卅一年九月九日第三種郵便物認可）　昭和十五年二月八日（木曜日）　臺灣日日新報

臺灣新報

日本日刊夕刊共十二頁
住所 臺北市榮町一丁目四番地
社名 臺灣日日新報社

殲滅的打撃を與ふ

江南戰線の敵第百四十七師に

【臺灣發四日發同盟】江南戰線の新第四十五師の各部隊は既報の如く十七師を殲滅すべく二日朝より猛攻を續行、激烈なる敵の抵抗を排除しつゝ三日朝までに同師（彰報集團七師）に對し殲滅的打撃を與へ更に同師を急追中である

集結中の共產匪を襲擊

【臺灣發四日發同盟】去る二十日以來小隊に分れ山西省南部の匪區を掃蕩中なる我が部隊は、折田、曳谷、鈴木、大西、石橋の各部隊は綿密なる連絡を保ちつゝ各地に蟠踞する敵を撃滅しつゝ前進を續け、一部は遂に匪都臨汾の東北方に進出し殘敵の掃蕩に當つたが、これに先立ち折田部隊は二十二日夜、同縣東北二十二、四五〇高地に集結中の共產匪を襲撃、これに痛撃を與へて四散せしめ、その全貌を完全に把握せしめた

南支陸鷲各所猛襲

【臺灣發四日發同盟】我が南支陸鷲山口、新代、山崎各部隊は四日午前敵機を求めて南支各地の敵航空基地を襲撃、陸鷲隊は敵機多數を撃墜破せしめ、我が方の損害は僅少であつた

【廣東四日發同盟】我が南支陸鷲山口、新代、山崎各部隊は四日午前敵機を求めて南支各地の敵航空基地を襲撃、陸鷲隊は敵機多數を撃墜破せしめ、我が方の損害は僅少であつた

【廣東四日發同盟】我が南支陸鷲山口、新代、山崎各部隊は四日午前敵機を求めて南支各地の敵航空基地を襲撃、陸鷲隊は敵機多數を撃墜破せしめ、我が方の損害は僅少であつた

一元的統制下に

治安攪亂の根源を芟除

北支派遣軍の布告

【北京四日發同盟】北支派遣軍では昨二日一部參謀を本特務機關に派遣し、治安攪亂の根源に對し徹底的打撃を與へるべく左の布告を發した

根源を芟除し不穩策動を絶滅するに必要なる有效手段を執るべきは當然の歸結にして、治安攪亂の根源たる重慶政權の抗日容共政策を徹底的に破碎し治安維持を强化し日滿關係機關の一元的統制下に治安攪亂の

翼賛會規約を改正

平沼無任所相を副總裁に

【東京四日發同盟】大政翼賛會の一部改正に關しては既報の如く昨日の總裁、副總裁會議に於て翼賛會の現狀に鑑み今後の運營を圓滑ならしめ大政翼賛運動に積極的なる政治力を與へんとするものと見られ、これが實現を以て翼賛會の整備强化の第一歩と目されるに至つた

【東京四日發同盟】大政翼賛會の一部改正に關しては既報の如く昨日の總裁、副總裁會議に於て翼賛會の現狀に鑑み今後の運營を圓滑ならしめ大政翼賛運動に積極的なる政治力を與へんとするものと見られ、これが實現を以て翼賛會の整備强化の第一歩と目されるに至つた

實踐要綱の草案を檢討

翼賛實踐部長會議で

【東京四日發同盟】大政翼賛會の實踐要綱に關する翼賛實踐部長會議は四日午前十時より翼賛會議室に開かれ、總務、組織、文化、調査、國民運動の各部長より實踐要綱の草案に關する檢討を行つた上、翼賛會の實踐要綱に關する意見を決定、これを總裁に具申することとなつた

選擧法改正に關し

政府原案を協議

平沼無任所相を加へて關係閣僚會議開催

【東京四日發同盟】內務當局で準備中の衆議院議員選擧法改正に關する政府の腹案は、選擧權者の資格を從來の滿二十五歳以上の男子より滿二十歳以上の男子に引下げ、選擧區は從來の大選擧區制を改めて小選擧區制とし、議員定數は四百五十名程度とする點にあるが、尙ほ選擧權者の資格を滿二十歳以上の男子に引下げる點については、內務當局に於ても異論なきも、選擧區制については、從來の大選擧區制を改めて小選擧區制とすることは、地方的情實に支配され易く、弊害が多いとの理由から、これに反對する意向が强く、從つて選擧區制については、從來の大選擧區制を存續せしめ、定數を四百五十名程度とする點に關しては、內務當局に於ても異論なきも、選擧區制については、從來の大選擧區制を改めて小選擧區制とすることは、地方的情實に支配され易く、弊害が多いとの理由から、これに反對する意向が强く、從つて選擧區制については、從來の大選擧區制を存續せしめ、定數を四百五十名程度とする點に關しては、內務當局に於ても異論なきも、

選擧法改正妥協案

政府側近く態度を協議

【東京四日發同盟】內務當局で準備中の衆議院議員選擧法改正に關する政府の腹案は、選擧權者の資格を從來の滿二十五歳以上の男子より滿二十歳以上の男子に引下げ、選擧區は從來の大選擧區制を改めて小選擧區制とし、議員定數は四百五十名程度とする點にあるが、尙ほ選擧權者の資格を滿二十歳以上の男子に引下げる點については、內務當局に於ても異論なきも、選擧區制については、從來の大選擧區制を存續せしめ、定數を四百五十名程度とする點に關しては、內務當局に於ても異論なきも、

總督府各種委員會

約二十を廢止せん

【東京四日發同盟】政府は六日の閣議から各種審議會の整理に着手し、總督府各種委員會の整理を斷行する方針を決定したが、これが實現を見れば、總督府各種委員會の約二十が廢止されるものと見られる

【東京四日發同盟】政府は六日の閣議から各種審議會の整理に着手し、總督府各種委員會の整理を斷行する方針を決定したが、これが實現を見れば、總督府各種委員會の約二十が廢止されるものと見られる

實踐要綱を決定

協力會議に提示說明

【東京四日發同盟】大政翼賛會の實踐要綱に關する翼賛實踐部長會議は四日午前十時より翼賛會議室に開かれ、總務、組織、文化、調査、國民運動の各部長より實踐要綱の草案に關する檢討を行つた上、翼賛會の實踐要綱に關する意見を決定、これを總裁に具申することとなつた

【東京四日發同盟】大政翼賛會の實踐要綱に關する翼賛實踐部長會議は四日午前十時より翼賛會議室に開かれ、總務、組織、文化、調査、國民運動の各部長より實踐要綱の草案に關する檢討を行つた上、翼賛會の實踐要綱に關する意見を決定、これを總裁に具申することとなつた

選擧法改正

政府原案を協議

平沼無任所相を加へて關係閣僚會議開催

【東京四日發同盟】大政翼賛會の實踐要綱に關する翼賛實踐部長會議は四日午前十時より翼賛會議室に開かれ、總務、組織、文化、調査、國民運動の各部長より實踐要綱の草案に關する檢討を行つた上、翼賛會の實踐要綱に關する意見を決定、これを總裁に具申することとなつた

【東京四日發同盟】大政翼賛會の實踐要綱に關する翼賛實踐部長會議は四日午前十時より翼賛會議室に開かれ、總務、組織、文化、調査、國民運動の各部長より實踐要綱の草案に關する檢討を行つた上、翼賛會の實踐要綱に關する意見を決定、これを總裁に具申することとなつた

永い官吏生活だが

平靜明朗に終止符

一見前警務局長の感想

【東京四日發同盟】大政翼賛會の實踐要綱に關する翼賛實踐部長會議は四日午前十時より翼賛會議室に開かれ、總務、組織、文化、調査、國民運動の各部長より實踐要綱の草案に關する檢討を行つた上、翼賛會の實踐要綱に關する意見を決定、これを總裁に具申することとなつた

羅國の正式承認

滿洲國政府發表

【新京四日發同盟】滿洲國政府は四日午前十時ルーマニア國政府が滿洲國を正式に承認するに至つた旨の同日附ルーマニア國政府發表を入手したので、同日午後二時より滿洲國外交部に於て發表した

【新京四日發同盟】滿洲國政府は四日午前十時ルーマニア國政府が滿洲國を正式に承認するに至つた旨の同日附ルーマニア國政府發表を入手したので、同日午後二時より滿洲國外交部に於て發表した

指導統制一本建

漁民、農民の共通性から

【東京四日發同盟】農林水產關係團體の整備に關する件は四日午前十時より農林省會議室に於て關係官會議を開き、農林水產關係團體の整備に關する件は四日午前十時より農林省會議室に於て關係官會議を開き、

最高度に國政運用

專ら輔弼の重責に

近衞首相決意を表明

現下の時局は極めて重大であり國政の運用を最高度に發揮せねばならぬ時となつた、仍つて內閣の一員として行政機務を持ち、專ら輔弼の重責に任じ國家の安危に對處する決意である、依つて會議の主宰者の如く決定した

一、會議の目的

(イ)大政翼賛運動の本部組織は既に大體完了したが府縣以下の地方支部の組織は未だ圓滿に進んでゐない點もあるので、本部と地方支部との連絡を緊密にし、地方支部の組織、有志團體務關係、未來中央協力會議關係等より各大政翼賛運動の本旨を明示する指導を行ふ、又有馬總務、後藤組織、小泉企畫、古田政策、前田總會の各副總長は所部門に關する大綱方針を說示する

(ロ)下情上通、同會議開催の主目的は國民の擧く大政翼賛會が全國的に翼賛運動を展開する準備をなすにあるがこれについては各地方團體を利用しこれに立脚して運營する必要があるので各地方團體の說明を聽取する

二、會議の議題

會議の目的に鑑み左記事項とする

(イ)來る紀元

最高度に國政運用

專ら輔弼の重責に

近衞首相決意を表明

現下の時局は極めて重大であり國政の運用を最高度に發揮せねばならぬ時となつた、仍つて內閣の一員として行政機務を持ち、專ら輔弼の重責に任じ國家の安危に對處する決意である、依つて會議の主宰者の如く決定した

一、會議の目的

(イ)大政翼賛運動の本部組織は既に大體完了したが府縣以下の地方支部の組織は未だ圓滿に進んでゐない點もあるので、本部と地方支部との連絡を緊密にし、地方支部の組織、有志團體務關係、未來中央協力會議關係等より各大政翼賛運動の本旨を明示する指導を行ふ、又有馬總務、後藤組織、小泉企畫、古田政策、前田總會の各副總長は所部門に關する大綱方針を說示する

(ロ)下情上通、同會議開催の主目的は國民の擧く大政翼賛會が全國的に翼賛運動を展開する準備をなすにあるがこれについては各地方團體を利用しこれに立脚して運營する必要があるので各地方團體の說明を聽取する

二、會議の議題

會議の目的に鑑み左記事項とする

(イ)來る紀元

目的、議題、形式等

萬般の準備を整ふ

十六日から開催の臨時中央協力會議

(イ)來る紀元二千六百年を迎へ擧國一致の態勢を以て大東亞の新秩序建設に邁進し、皇國の使命を完遂するは實に今日の時局に處する我等國民の絶對の責務である、この秋に當り大政翼賛會の本質的使命を遺憾なく發揮し、擧國體制の强化を圖ることは喫緊の要務である、仍つて大政翼賛會の本部組織は既に大體完了したが府縣以下の地方支部の組織は未だ圓滿に進んでゐない點もあるので、本部と地方支部との連絡を緊密にし、地方支部の組織、有志團體務關係、未來中央協力會議關係等より各大政翼賛運動の本旨を明示する指導を行ふ、又有馬總務、後藤組織、小泉企畫、古田政策、前田總會の各副總長は所部門に關する大綱方針を說示する

(ロ)下情上通、同會議開催の主目的は國民の擧く大政翼賛會が全國的に翼賛運動を展開する準備をなすにあるがこれについては各地方團體を利用しこれに立脚して運營する必要があるので各地方團體の說明を聽取する

二、會議の議題

會議の目的に鑑み左記事項とする

(イ)來る紀元

伯國に反英熱昂る

英艦の不法臨檢に激昂

【リオ・デ・ジヤネイロ三日發同盟】英國政府は伯國政府に對し英國に對する敵性國船舶の臨檢を要求したが、伯國政府は之を拒絶したので英國は三日以來伯國船舶の臨檢を開始したが、伯國政府は之に對抗措置を講ずる模樣である

【リオ・デ・ジヤネイロ三日發同盟】英國政府は伯國政府に對し英國に對する敵性國船舶の臨檢を要求したが、伯國政府は之を拒絶したので英國は三日以來伯國船舶の臨檢を開始したが、伯國政府は之に對抗措置を講ずる模樣である

米重大會議を開く

對英援助の全面的檢討

【ワシントン三日發同盟】米國政府當局は三日以來ホプキンス特使と英國の首相、外相、陸海軍當局者との間に會談を行つてゐるが、會談は四日も引續き行はれる模樣である、尙ほ會談には英國側よりビーバーブルック軍需相、ダフ・クーパー情報相、ノックス海軍長官、スティムソン陸軍長官、ウエルズ國務次官、フオレスタル海軍次官、

【ワシントン三日發同盟】米國政府當局は三日以來ホプキンス特使と英國の首相、外相、陸海軍當局者との間に會談を行つてゐるが、會談は四日も引續き行はれる模樣である、尙ほ會談には英國側よりビーバーブルック軍需相、ダフ・クーパー情報相、ノックス海軍長官、スティムソン陸軍長官、ウエルズ國務次官、フオレスタル海軍次官、

總督府各種委員會

約二十を廢止せん

【東京四日發同盟】政府は六日の閣議から各種審議會の整理に着手し、總督府各種委員會の整理を斷行する方針を決定したが、これが實現を見れば、總督府各種委員會の約二十が廢止されるものと見られる

【東京四日發同盟】政府は六日の閣議から各種審議會の整理に着手し、總督府各種委員會の整理を斷行する方針を決定したが、これが實現を見れば、總督府各種委員會の約二十が廢止されるものと見られる

七日臨時閣議

平沼無任所相を加へて

【東京四日發同盟】政府は六日の定例閣議に引續き七日臨時閣議を開き、

丸善

襄西作戰に協力する陸鷲

（上）秦宮部隊の爆撃行（下）作戰を練る陸鷲部隊の勇士

獨伊駐在財務官決定

【東京四日發同盟】大藏省では國際收支の振替に關する第二次協定實施に伴ひ駐在財務官を左記の如く決定した

獨逸國駐在財務官　荒木　貴夫
伊太利國駐在財務官　武藤　一郎

英國駐在官

英國駐在官補佐官

獨伊駐在財務官決定

【東京四日發同盟】大藏省では國際收支の振替に關する第二次協定實施に伴ひ駐在財務官を左記の如く決定した

獨逸國駐在財務官　荒木　貴夫
伊太利國駐在財務官　武藤　一郎

英國駐在官

英國駐在官補佐官

外務辭令

【東京四日發同盟】外務辭令（四日）

興亞院調查官　坂本一敏
任興亞院參事官　宮崎　申郎
任興亞院參事官　宮崎　申郎
任興亞院參事官　宮崎　申郎
仰付
興亞院參事官　宮崎　申郎
仰付
興亞院參事官　宮崎　申郎
仰付

社說

國民食の制定と我が臺灣

榮養學的研究と指導が緊切

非常時局下に於ける國民生活上一の新時期を劃するものといふべき國民食米、今回新體制實現の一部面を擔ふる重要の使命を帶びて登場、國民全體の榮養學的標準として一日所要の熱量を確保すべく、中央物價對策協議會に於て決定された、國民食糧價格がそれである、此の米價決定に當つては、國民の負擔と生産者の利潤との調和を圖ることは勿論、更に國民の"からだ"に對して榮養的に適正にして而も經濟的に調へられることとなつた、最近國民の"からだ"に對しては國民榮養學者たちの研究せられ、"住"は勿論多くの問題と合理の施設に伴つて從來の住宅改善に對する考へ方を一變し、今や新しく衣住の三者に亙つて生活改善が戰時下に乘り出して來るのと其のことである。

二

衣住のうち人間の生活上"食"が最も大切な條件であることは勿論であつて、別に多く說明するまでもあるまい。今般この國民食米、即ち米の國家管理に當つて合理的な配給が行はれることと共もに、此の制定即ちは我が國民の榮養學的研究の上に大なる貢獻をなすものであるが

十年後の砂糖需給
滿洲國の自給自足は疑問
糖界の諸問題（十）

年末資金供給を努めて簡易圓滑に
政府の歳末金融對策

内地農家の耕地適正調査
特別委員會よりの答申

物資活用と救濟に禁令の一部緩和
金肥不足の克服へ

米穀增產祕訣（一）
金肥不足の克服へ
總督府殖產局　入鹿山技師（寄書）

臺拓が石炭に乘出
三德礦業の經營を讓受

島内食用油の配給機構を整備

船員使用等統制令
本島公布に當りて
週信部・日高海事課長談

米穀商組合の新體制則應案
一元的共精、共販組織へ

用紙規格規則
明一月一日より施行

明年度の島内砂糖配給
四日臺北で協議

爪哇糖は輸出杜絕に困惑
中瀨糖聯理事長歸來談

内外商況
（四日）

世紀の除夜 (65)

北村小松作　都竹伸一畫

（承上回）

消息口

「あらそう？……」

――駅前から乗って来た、人のようながら、きっと伯父にしてある弟の和尚とでも一所で、その消息でもつて来て呉れたのであらう、と思ひながらから義伯父は軽くうなづいたのだ。

そのものだつた。

「それ、義伯父、この人は、しかも保護に精進な、駅地で出合したと云ふんだよ……」

「えゝ」

義伯父も始めて聞かされるのだつた。

出征してある弟の和尚に出合つたといふのならばまだしも、退役されたんとして、駅頭を去つて、それつきり消息のなかつた兄の保護に、この人が支那で出合つたなんて、そんなこと本当にあり得るだらうか？

「……和尚さんなく、保護兄さんにですか？」

駅長も、義伯父も、稍のり出して、この客と一座との顔を見比べずにはゐられなかつた。

「はゝ……」

客が、うなづいた。

「どうしても、保護兄さんとはうしやいませんでしたが、……私、どうしても、たしかに保護兄さんと思はずにゐられませんので、あれ以来ふつと頭に浮かべてゐましたのですが、只今、その御話を申しあげましたら、こちら様でも、保護機関が、支那にいらつしやると御教へがあつたりしやいますので、それでとやつぱり人違ひだつたのかと、思つてゐたのです。」

客は、ほつとしたやうに、ゆつくりと煙草に火をつけた。

「……」

駅長も、義伯父も、黙つてゐた。

「……」

客が、うなづいた。

「どうしても、保護兄さんとはうしやいませんでしたが、……私、どうしても、たしかに保護兄さんと思はずにゐられませんので、あれ以来ふつと頭に浮かべてゐましたのですが、只今、その御話を申しあげましたら、こちら様でも、保護機関が、支那にいらつしやると御教へがあつたりし

（第三種郵便物認可）　昭和十五年十二月五日　（木曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百三十二號　（五）

臺日各地綜合版

要求總額一二千萬圓
きのふから說明開始

全島で遙弔式

心から日本に信賴
潮陽縣視察團長語る

忘年會は舊い
朗かに體位向上行事で迎春
嘉義專賣支局で實行

大湖へ新道路開通
三里十町山地開發の動脈線
保甲民の奉仕で完成

勞力に不安はない
大量移入可能となる

臺南州新豫算

獻穀田を選定

嘉義聯青査閱

裏作に小麥
大村庄で奬勵

兵隊さんへ新刊誌
圖書館で雜誌募集

加村部守初巡視

宗教家懇談會
臺中州で開催

山火事

街庄長會議
北斗郡で開く

臺北州下高砂族大會
十、十一兩日南澳で開く

南方事情講演
七日夕嘉義で

◇澎湖に家庭養鷄熱…◇

直轄團優勝
斗六郡壯丁團檢閱

山下藤太郎氏告別式

防火宣傳隊
一日臺東で組同

畑地改良組
苗栗組で結成

大城産業組合
年內に新設決定

屏東の卅年前
全くお話にならぬ荒涼振り
牛夜記念碑建立を喜ぶ　飯島教諭感想談

公債は大人氣
勸銀取扱も順調に消化

無緣の墓地を整理
東石郡六脚庄の大英斷

配船を熱望
近く關係當局に陳情

古杭木で木炭製造
瑞芳で立派に自給自足

無緣の墓を
東石郡六脚庄の大英斷

無賴漢狩り
臺南署徹底的に

秋の讀書
滿員は大體三日目から

門松も自肅型
羅東で値段も半減

豚肉自給自足計畫
田一甲に二頭飼養奬勵

舊俗品再檢討
纖維品の認定會を開く

彰化醫察射擊會

鷲卵配給組
臺中州で結成

陳天生氏母堂

司法警官會議

屏農教練査閱

林州議員改姓名

人事

嘉義消防組

嘉義敎練査閱

嘉義消防組

嘉義敎練査閱

嘉義消防組

嘉義敎練査閱

銃後奉公會

貢寮庄報國隊

感謝、眞劍、共同を スローガンに

日の丸一心隊旗翻る

公共事業功勞で表彰さる

【基隆電話】基隆貢寮庄役場を中心として發會式を擧げ、庄内各部落に結成されてゐた報國隊は、愈々十二月一日から發足することになつたが、その出發に當つては、庄内有力者たちが參集して、昭和十五年度における報國隊の活動方針を協議したが、その結果、各報國隊の統一と團結を强化するため、各報國隊を一團として、各隊長の下に、各隊員が一致協力して、庄内各部落の銃後奉公の完璧を期することになつた。

銃後　奉公の誓をつくさんとの熱意のもとに結成としてこの報國隊に參加した、各隊員たちは、基隆港灣の警備、軍に準ずる重要任務に當つてゐるので、その使命の重大なるを自覺して、一日の丸一心の隊旗のもとに、敢然として活動を續けてゐる、北部地方特有の季節も當つて、はや雨の日も多い折柄、折からの寒雨にもめげず、隊員たちは、庄内の三ヶ所を擔當部署の指揮として、實に朝早しくも晩遅くまで銃後の護りである。

隊員　たちの熱心について見てゐると、隊員たちはこの報國隊に參加したことにより、銃後奉公の完璧を期するの上に銃後に國に盡ゆるのようこびを感ずるといふわけで、勤務時間に關しても、きちんと決つた通り勤務と食事と共に、その他の時間は、すべて銃後奉公の勤務に當てゐるので、隊員一同のようこびばかりでなく、銃後にとつても、實に心强しくもうれしい報國隊である、殊に庄内にあつては、この報國隊を指して庄民たちの銃後奉公の鑑であるとして、庄民たちの感謝の聲が高まつてゐる、なほ、各隊が一段とレベルアップしようとし、各隊が競つて銃後奉公の實を擧げつつあるものである。

△

わけても基隆港灣關係は、いつさいに銃後奉公の鑑として、庄内一圓の報國隊をはじめ、庄民たちの感謝の的であつては基隆港灣關係の銃後への活動

西園寺公の國葬準備

五日の西園寺公の國葬を前にして三日には日比谷の儀場の準備が大體出來上ると共に公の霊永への準備も全く成つた、寫眞は㊃日比谷葬儀場

一代の巨人を送る 國葬の儀はけふ

園公永久に神鎭まる

【東京四日發同盟】 國葬令公布の勅令は五日官報を以て發布されるが、これにより先日比谷葬場において執り行はれる國葬の儀は、明五日午前十時から正午十二時までの間に行はれることゝなつた

安置

それである内閣告示は三日午前十時から午後六時まで公邸において一般公衆の拜禮を許し、午後七時から午後十時までの間に靈柩を霊柩車に移し、午後十時から靈柩車は公邸を出發して儀場に向ふ、靈柩が儀場に到着すれば直ちに儀場の門が閉ぢられ、午後十時から午後十一時までの間に一般公衆の拜禮を許すことゝなつてゐる

葬儀

國葬の儀は五日午前十時から儀場において執り行はれるが、この日靈柩の安置は午後十時から午後十一時までの間に靈柩車に移し、午後十時から午後十一時までの間に一般公衆の拜禮を許すことゝなつてゐるが、この間に靈柩車は公邸を出發して儀場に向ふ、靈柩が儀場に到着すれば直ちに儀場の門が閉ぢられ

榮冠學生軍に輝く

第二回 對社會人卓球大會

シーズン酣！ ㊀明立ラグビー（後半十六分交代）㊁早大對文理大サッカー（後半四十三分交代大ゴール前に迫る早大花）㊂慶帝ラグビー（後半三十六分殿部ゴール前十五間附近スクラムより出た球を帝大最後迫つて巴にたコーナートライせんとする瞬間）

今頼カツプ爭覇戰

第二回全臺社會人（實業團）卓球大會（後援臺日新報社）は愈々來る十二日から三日間臺北市公會堂に於て開催されることになつたが、之に出場する各社會人チームは何れも優勝を目指して猛練習を續けてゐるが、其の中でも昨年度の優勝チームで今頼カップを獲得した臺銀チームは、今回も亦